

沿革

広島県保健医療計画，地域住民の要望に基づき，県北地域ただ一の看護専門学校として設置される。

高齢社会の到来・疾病構造の変化により，看護の需要に即した，資質の高い，人間性豊かな看護職員を養成確保し，保健医療体制の確立・地域住民の健康の保持増進に寄与するために整備された。

昭和 53 年 4 月 環境保健部医務課に看護教員を配置し開校準備

昭和 54 年 2 月 厚生省指定認可

昭和 54 年 4 月 広島県立三次看護専門学校を三次市十日市町 677-1 に開校 鉄筋コンクリート4階建 延面積 2,201.38 平方メートル 総定員 130 人 臨床看護学科(看護師3年課程) 定員各学年 30 人 第二臨床看護学科(看護師2年課程)定員各学年 20 人

昭和 56 年 4 月 寄宿舍を三次市畠敷町 166-71 に新築落成 鉄筋コンクリート4階建 延面積 1,600 平方メートル 定員 64 名

平成 4 年 4 月 県立広島看護専門学校助産学科の開設に伴い，臨床看護学科を第一看護学科に，第二臨床看護学科を第二看護学科に学科名変更

平成 7 年 1 月 第一・第二看護学科修了者が専門士として称することができる専修学校専門課程として認可

平成 7 年 3 月 県内看護職員確保のため本校を拡充することとなり，校舎新築移転工事着工

平成 7 年 7 月 厚生省に養成定員増・校舎並びに実習施設の変更申請

平成 7 年 12 月 厚生省変更申請承認

平成 8 年 4 月 新築移転

三次市東酒屋町字敦盛 518-1 敷地面積 3,032.41 平方メートル

鉄筋コンクリート造 4 階建 延床面積 4,423.76 平方メートル

第一看護学科定員を 60 人に定員増